



JASDAQ

平成 19 年 10 月 9 日

各 位

神奈川県横浜市中区長者町五丁目 85 番地

株式会社ジー・トレーディング

代表取締役社長 篠原 邦夫

(コード番号：3348 JASDAQ)

問い合わせ先：取締役管理本部長 齋藤 正明

TEL (045) 232 - 2011 (代表)

平成 20 年 2 月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 4 月 18 日の決算発表時に公表した平成 20 年 2 月期中間期の業績予想（平成 19 年 3 月 1 日～平成 19 年 8 月 31 日）を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 2 月期中間期連結業績予想の修正(平成 19 年 3 月 1 日～平成 19 年 8 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	6,480	85	40
今回修正予想 (B)	7,870	150	70
増減額 (B - A)	1,390	65	30
増減率 (%)	21.5	76.5	75.0
(ご参考)			
前期実績(平成 18 年 2 月期中間期)	6,540	71	28

2. 平成 20 年 2 月期中間期個別業績予想の修正(平成 19 年 3 月 1 日～平成 19 年 8 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	6,075	70	35
今回修正予想 (B)	7,350	170	99
増減額 (B - A)	1,275	100	64
増減率 (%)	21.0	142.9	182.9
(ご参考)			
前期実績(平成 18 年 2 月期中間)	6,078	62	30

3.業績予想修正の理由

(個別)

平成20年2月期中間期の個別業績予想に関しましては、国内事業は前期から取り組んでいる中堅大手顧客の新規開拓を柱とした、適正利潤の確保を重視した営業活動に努めたことにより業績は好調に推移いたしました。また、海外事業も、天然資源高騰で経済成長が著しいロシアを中心とした天然資源産出国の旺盛な需要等により業績は堅調に推移し、原油価格高騰の影響を最小限度に止めました。

結果、公表予想対比売上高が1,275百万円、経常利益が100百万円、中間純利益が64百万円それぞれ上回る見込みであります。

(連結)

平成20年2月期中間期の連結業績予想に関しましては、ジー・バス販売は、ジー・リースを利用した販売手法に着手し、売上高は前年同期に対して増加いたしました。営業基盤拡充のため販売拠点の増設(九州)及び営業員の増員等により販管費が増加し、営業損失となりました。

また、Samurai Motorsについては創業以来の赤字体質から黒字体質に転換するため、冗費を削減する等、インターネットを活用した販売に着手し、販売実績を着実に伸ばしてはおりますが、収益につきましては当初の見込みを下回りました。

結果、上記個別業績予想の上方の影響により、公表予想対比売上高が1,390百万円、経常利益が65百万円、中間純利益が30百万円、それぞれ上回る見込みであります。

なお、平成20年2月期の連結及び個別業績予想につきましては、当中間期の着地見込みを踏まえ、現在見直しを行っているため、分かり次第公表させていただく予定です。

上記の予想は本資料発表時において入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上